

政治家と旧統一教会（世界平和統一家庭連合）との関わりの真相究明を求める意見書

今、国民の間で大きな関心ごととなっていることは政治家と旧統一教会（世界平和統一家庭連合）との関わりです。

その実態は、靈感商法などの詐欺的集金活動、高額献金、集団結婚式などであり、社会的批判をあびてきたカルト宗教であると全国靈感商法対策弁護士連絡会は位置づけています。

旧統一教会の開祖 文鮮明は政治団体として国際勝共連合を創設しました。日本の旧統一教会初代会長・国際勝共連合初代会長の久保山修己氏は、「勝共運動は『神主義』を基本としている。単なる政治運動ではなく、宗教理念をベースとした国民運動である。共産主義の本質は神への反逆思想である。」と述べています。

8月10日、記者会見で旧統一教会の田中富広会長は、「教会の基本姿勢は共産主義との対峙だ。その視点から言うと自民党の議員の方々がより多く接点を持つことがある。」と語りました。

現在も社会問題となっている靈感商法を半世紀も続けている団体と政治家が接点を持つことは、国民に社会的に認知されている団体として安心感を与えるものとなります。政治家は、統一教会との関係を直ちに断つべきです。

よって、国において、実態を調査し、真相究明のうえ、国民に包み隠さず説明責任を果たすことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

近江八幡市議会議長 小西 励

衆議院議長	細田 博之	殿	}	宛
参議院議長	尾辻 秀久	殿		
内閣総理大臣	岸田 文雄	殿		